

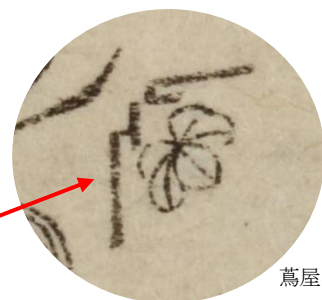
西尾市岩瀬文庫

— 古典籍の宝庫 —



かんにんぶくろおじめのぜんだま
『堪忍袋緒 善玉』

さんとうきょうでん きた おしげまさ (1793)
山東京伝作・北尾重政画 寛政5年刊



葛屋

左: 葛屋重三郎(右端)が山東京伝(左端)を説得する場面
下: 善玉たちに一網打尽にされる悪玉たち

古典籍の博物館である西尾市岩瀬文庫は、江戸の版本を数多く所蔵し、そのなかには今話題の葛屋重三郎が出版した本もあります。本書はそのうちの一つ、人間の善悪の心を擬人化した「善玉」「悪玉」が登場する黄表紙です。「悪玉」たちは子どもや若者を悪へ導こうと近づきますが、「善玉」たちにことごとく阻まれて失敗。最後には一網打尽にされ、磨かれて改心するという教訓書を装った滑稽なお話です。冒頭には、「三番煎じは誰も読まない」と執筆をしぶる京伝に対して、「こういう趣向を好む読者は日々増えているから売れるはずだ」と葛重が説得する場面が描かれています。



「善玉」「悪玉」というキャラクターは、寛政2年京伝が出した『心学早染草』から生まれて大ヒットし、本書はその三部作目にあたります。また、当時の流行となり、浮世絵や芝居などにも登場しました。現代でも使われる善玉菌・悪玉菌などの言葉も、この善玉たちに由来しています。(学芸員 青木 眞美)

目次

●令和7年度愛知県博物館協会総会のご報告	2
●令和7年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会のご報告	11
●表紙館のご紹介	12

令和7年度愛知県博物館協会 総会のご報告

愛知県博物館協会の令和7年度総会が6月19日(木)に開催された。通例は会長館での開催であるが、会長館である名古屋市博物館が改修工事中のため、名古屋市科学館が会場となり、参加館56館より92名の出席があった。当日の概要は下記の通りである。

《総会》

1. 開会の辞

併せて加盟館数117館の内、総会出席館・委任状提出館総数106館と報告、当協会規約に基づき総会成立の旨宣言がなされた。

2. 会長あいさつ

会長 名古屋市博物館 館長 近藤 善紀氏

3. 愛知県博物館協会表彰

議事に先立ち、豊田市博物館 主査監であった森 泰通氏が、愛知県博物館協会より永年の業績に対する表彰(功労賞)を受けた。尚、同氏はあいにく公務により総会を欠席されたため、後刻改めて表彰状及び記念品の授与が行われた。

4. 議 題 議長(会長)

議題(1) 令和6年度事業報告並びに決算報告について

1 事 業

(1) 記念講演会の実施

日 時 令和6年6月14日(金) 午後3時45分～午後5時15分
(令和6年度愛知県博物館協会総会に引き続き実施)
会 場 名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール
演 題 博物館法改正と学芸員
講 師 浜田 弘明 氏(桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授)

(2) 職員研修会1

【担当：刈谷市歴史博物館・武豊町歴史民俗資料館・豊田市美術館・愛知県美術館】

日 時 令和6年10月22日(火) 午後1時30分～午後5時
会 場 豊田市美術館・豊田市博物館
テ ー マ 施設見学：豊田市美術館・豊田市博物館
講 師 高橋 秀治 氏(豊田市美術館 館長)
村田 眞宏 氏(豊田市博物館 館長)
参 加 者 38名



(総会風景 会長挨拶
於 名古屋市科学館 生命館地下2階サイエンスホール)

(3) 職員研修会 2

(当協会・東海三県博物館協会研究交流会の合同研修会、兼 当協会設立 60 周年事業として実施した。)

【担当：岡崎市美術博物館・熱田神宮宝物館・名古屋市科学館・

博物館明治村・愛知県陶磁美術館】

日 時 令和 7 年 2 月 28 日 (金) 午後 1 時 00 分～午後 5 時 20 分

会 場 愛知芸術文化センター 12 階 アートスペース A(オンラインと併用)

テ ー マ 今！行う博物館の災害対策！－東日本大震災後の取り組みから－

講 師 目時 和哉 氏 (岩手県立博物館 専門学芸調査員)

事例発表 泉田 邦彦 氏 (石巻市博物館 学芸員)

(オンライン) 酒井 昌一郎氏 (仙台市博物館 学芸企画室長)

山内 宏泰 氏 (リアス・アーク美術館 館長)

グループトーク セッション

参 加 者 53 名 (うちオンライン参加者 8 名)

(4) 表 彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づく表彰 (表彰者 2 名)

(5) 印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」2 回 電子媒体発行 (No.119、120)

【担当 秋期：トヨタ博物館 春期：徳川美術館】

→通常通り発行。

秋期 (令和 6 年 9 月 17 日 HP 掲載)・春期 (令和 7 年 4 月 9 日 HP 掲載)

・「おでかけガイド」2 回発行

【担当 秋期：稲沢市荻須記念美術館 春期：豊橋市自然史博物館】

→通常通り発行。各 26,000 部

秋期 (令和 6 年 10 月 22 日 HP 掲載)・春期 (令和 7 年 4 月 9 日 HP 掲載)

(6) HP 運営

【担当：弥富市歴史民俗資料館・昭和美術館・新城市鳳来寺山自然科学博物館】

・X(旧 Twitter)告知【担当：弥富市歴史民俗資料館】

(7) 災害発生時の対応

【担当：会長館(名古屋市博物館)・副会長館(トヨタ博物館)・前会長館(愛知県陶磁美術館)

次期会長館(愛知県美術館)・次々期会長館(名古屋市科学館)】

・令和 7 年 1 月 22 日 (水) 午後 3 時一斉送信

非常連絡訓練 (同時刻 愛知県全域 震度 6 弱想定)

・令和 7 年 2 月 19 日 (水) 加盟館へ結果報告を送信 (トヨコモ安否サービスに掲示)

(8) 他協会

・令和 6 年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会(事務局：山梨県)

日 時 令和 6 年 8 月 2 日(金)午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 理事会・総会・講演会

会 場 山梨県立博物館及びオンライン(Microsoft Teams Meeting)

・令和 6 年度東海三県博物館協会研究交流会(担当：愛知県)

(3)の職員研修会 2 と合同開催 参加者 愛知県 42 名 三重県 5 名 岐阜県 6 名

2 会 議

(1) 理事会

日 時 令和 6 年 6 月 14 日 (金) 午後 1 時～午後 2 時
会 場 名古屋市科学館 生命館 6 階 学習室

(2) 総 会

日 時 令和 6 年 6 月 14 日 (金) 午後 2 時 30 分～午後 3 時 20 分
会 場 名古屋市科学館 生命館地下 2 階 サイエンスホール

(3) 実行委員会 随時 (年間 8 回程度)

第 1 回 日 時 令和 6 年 4 月 23 日 (火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時
会 場 名古屋市博物館 4 階 会議室
本年度事業計画と役割分担、理事会・総会日程及び会場 他

第 2 回 日 時 令和 6 年 5 月 22 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
会 場 名古屋市博物館 4 階 会議室(一部 Zoom 併用)
本年度理事会・総会の内容、役割分担 他

第 3 回 日 時 令和 6 年 7 月 25 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
会 場 名古屋市博物館 仮事務所 会議室
本年度理事会・総会開催報告、印刷物、HP、災害対策 他

第 4 回 日 時 令和 6 年 9 月 20 日 (金) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
会 場 オンライン(Zoom)
職員研修会、印刷物、HP、災害対策 他

第 5 回 日 時 令和 6 年 11 月 20 日 (水) 午前 10 時 30 分～正午
会 場 オンライン(Zoom)
職員研修会、印刷物、HP、災害対策 他

第 6 回 日 時 令和 7 年 1 月 21 日 (火) 午後 3 時 30 分～午後 5 時
会 場 熱田神宮宝物館 2 階 会議室
職員研修会、印刷物、HP、災害対策 他

第 7 回 日 時 令和 7 年 2 月 19 日 (水) 午前 10 時～午前 11 時 48 分
会 場 オンライン(Zoom)
職員研修会、印刷物、HP、災害対策 他

第 8 回 日 時 令和 7 年 3 月 18 日 (火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時
会 場 徳川美術館 2 階 会議室
職員研修会、印刷物、HP、災害対策、令和 7 年度事業計画 他

(4) 災害対策分科会 随時 トヨクモ安否確認サービス 2 掲示板

・愛知県文化財防災ネットワークの対応 訓練等事後報告

・令和 6 年度決算報告の件

令和 6 年度決算について、事務局より収入・収支の報告がなされた。続いて監査報告書をもとに、監事館である愛知県美術館・徳川美術館より監査の結果相違なき旨の報告がなされ、異議なく承認された。

議題(2) 令和7年度事業計画(案)並びに予算(案)について

1 事業

(1) 記念講演会の実施

日時 令和7年6月19日(木) 午後3時45分～午後5時15分

会場 名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

演題 文化観光の推進と拠点としての博物館

講師 中尾 智行氏 文化庁 参事官(文化拠点担当)付 博物館支援調査官

(2) 表彰 令和7年6月19日(木)の総会時に表彰・報告を行った

(3) 職員研修会(企画展などの見学会を実施)

【担当:愛知県陶磁美術館・愛知県美術館・武豊町歴史民俗資料館・稲沢市荻須記念美術館】

時期 例年10月～11月頃(令和6年度は10月22日(火)に実施)

会場 未定

(4) 部門別研修会(調査・研究、教育・普及、保存・修復の研修会を実施)

【担当:岡崎市美術博物館・刈谷市歴史博物館・豊田市美術館・
博物館明治村・豊橋市自然史博物館】

時期 例年12月～翌年3月(令和6年度は2月28日(金)に実施)

会場 未定

(5) 印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」2回 電子媒体発行

【担当 秋期:熱田神宮宝物館 春期:トヨタ博物館】

・「おでかけガイド」2回 印刷発行・配布

【担当 秋期:徳川美術館 春期:名古屋市科学館】

(6) HP運営

【担当:昭和美術館・新城市鳳来寺山自然史博物館・弥富市歴史民俗資料館】

・HP更新の検討

・協会公式Xの運用

(7) 災害発生時の対応

【担当:会長館(名古屋市博物館)・副会長館(トヨタ博物館)・前会長館(愛知県陶磁美術館)
次期会長館(愛知県美術館)・次々期会長館(名古屋市科学館)】

・トヨクモ安否確認サービス2プレミアムプラン年間契約・非常時の情報収集

・非常連絡訓練(被災状況の共有(情報公開)の実施)

(8) その他

・令和7年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会

日時 未定 例年7月～9月頃(令和6年度は8月2日(金)に実施)

会場 未定(神奈川県)

・令和7年度東海三県博物館協会研究交流会

日時 未定(令和6年度は令和7年2月28日(金)に実施)

会場 未定(岐阜県)

2 会議

(1) 理事会 日時 令和7年6月19日(木) 午後1時～午後2時

会場 名古屋市科学館 生命館6階 学習室

- (2) 総 会 日 時 令和 7 年 6 月 19 日 (木) 午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分
会 場 名古屋市科学館 生命館地下 2 階 サイエンスホール
- (3) 実行委員会 随時 年間 8 回程度開催 ※原則対面開催(オンライン併用)

3 その他

・令和 7 年度予算(案)について

令和 7 年度予算(案)について事務局より収集・収支の説明がなされ、原案通り異議なく承認された。

議題(3) 愛知県博物館協会次期役員の選出について

現在の役員任期が令和 8 年 3 月末日をもって終了するのに伴い、次期役員選出(案)を下記のとおり提示、異議なく承認の運びとなった。

令和 8(2026)年度～令和 9(2027)年度 愛知県博物館協会役員リスト

※任期は令和 8 年 4 月から令和 10 年 3 月まで

役職名	館(園)名	代表者名	備考
会 長	愛知県美術館	館長 平瀬 礼太	令和 8 年度より交代
副会長	トヨタ博物館	館長 榊原 康裕	
理 事	一宮市博物館	館長 久保 禎子	令和 8 年度より交代
理 事	熱田神宮宝物館	館長 芹田 治	継 続
理 事	岡崎市美術博物館	特任館長 榊原 悟	継 続
理 事	あま市美和歴史民俗資料館	生涯学習課長 内山 伸也	令和 8 年度より交代
理 事	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	継 続
理 事	刈谷市歴史博物館	館長 鈴木 隆	継 続
理 事	豊田市博物館	館長 村田 眞宏	令和 8 年度より交代
理 事	大府市歴史民俗資料館	館長 白濱 久	令和 8 年度より交代
理 事	豊橋市美術博物館	館長 岡田 亘世	令和 8 年度より交代
理 事	博物館明治村	館長 中川 武	継 続
理 事	新城市設楽原歴史資料館	館長 湯浅 大司	継 続
理 事	愛知県陶磁美術館	館長 佐藤 一信	継 続
理 事	名古屋市博物館	館長 近藤 善紀	令和 8 年度より交代
監 事	徳川美術館	館長 徳川 義崇	継 続
監 事	名古屋市科学館	館長 大路 樹生	令和 8 年度より交代

5. 報 告

(1) 令和 6 年度 退会館について

愛西市佐織歴史民俗資料室の退会が報告された。

加盟館数 117 館（令和 7 年 6 月 19 日現在）

(2) 東海地区博物館連絡協議会・東海三県博物館協会研究交流会について

令和 7 年度、東海地区博物館連絡協議会は神奈川県が当番県、東海三県博物館協会研究交流会は岐阜県博物館協会が担当することとなった。

6. その他

(1) 愛知県文化財防災レスキュー事業について

大規模災害発生時、県内所在の文化財等を保護するため、防災・救済体制を整えるべく、「文化財レスキュー台帳」の整備とともに、各所連携体制を整え「文化財防災ネットワーク」構築の必要性について愛知県から説明を受けている旨、事務局より報告があった。尚、令和 7 年度は 8 月に愛知県文化財防災ネットワーク準備会（書面開催）、令和 8 年 1 月には愛知県文化財防災ネットワーク会議（県庁において対面開催）が予定されていることが付け加えられた。

7. 閉会の辞

《記念講演会》

総会終了後、記念講演会を実施した。

演題 文化観光の推進と拠点としての博物館

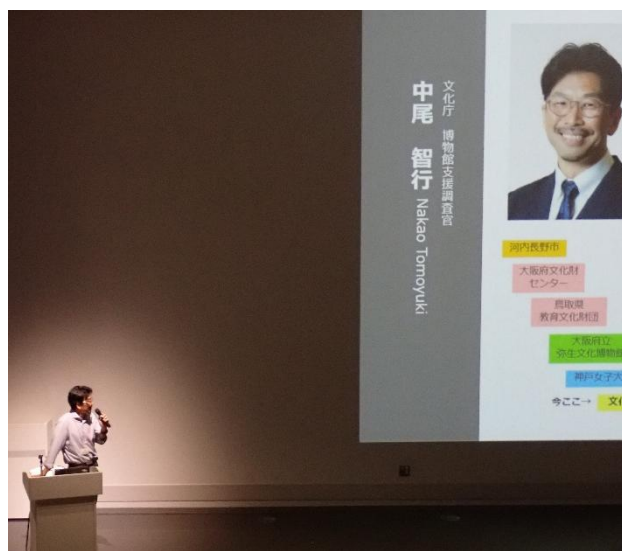
講師 中尾 智行(なかお ともゆき)氏

(文化庁参事官(文化拠点担当)付

博物館支援調査官)

平成 29 年に文化芸術基本法制定、また令和 4 年には博物館法が改正された。今回の記念講演会は、その法改正において博物館の事業に「文化観光その他の活動による地域の活力の向上への寄与」が盛り込まれたことを受け、博物館をはじめとする諸施設のマーケティング、広報戦略を主軸とし、各施設のブランディングを高めるにはどのような認識を持ち、いかに文化庁と連携していくかについて文化庁 博物館支援調査官の中尾智行氏にご講話を頂いた。

中尾氏は、まずこれからの博物館はじめ各館園（以下、「博物館」と略）に求められる役割・機能として、「守り、受け継ぐ」「わかち合う」「育む」「つなぐ、向き合う」「営む」という 5 つの方向性を挙げられた。そして令和 2 年制定の所謂「文化観光推進法」を基に、観光を通じていかに文化への理解を高めるかという重要性を説かれた。現在都市部への人口集中で地域文化がゆるやかに衰退しているという。一例として棚田の文化を挙げ、農家の営み、継承者の確保をどうするか、いかに守っていくか、また、地域の歴史・文化を伝える町並みを残すにはどうすればよいのか。その価値と魅力を多様な視点から発信、近年叫ばれている「エコシステム」を構築し、未来に紡いでいくという挑戦の一翼を担っているのが博物館である



中尾 智行氏（文化庁 博物館支援調査官）

との事である。まずは地域文化資源の調査・データベース化・人材確保などの「文化資源の魅力向上」、次にわかりやすい展示品解説・多言語アプリや VR・AR 等のコンテンツの導入を行い「文化理解を深める措置」を講じ、キャッシュレス・Wi-Fi 整備、バリアフリーやアクセス向上に取り組み「利便性の向上」を図る。またショップ・カフェの充実や国内外へ宣伝を行い、関心を高めることの必要性を語られた。これに関し、国としても文化施設機能強化・文化観光推進にかかる支援予算を設けており、これまでに 50 以上の計画を認定してきた実績報告がなされ、今後とも是非有意義な活用を、と呼び掛けておられた（令和 7 年 4 月現在では 57 計画）。

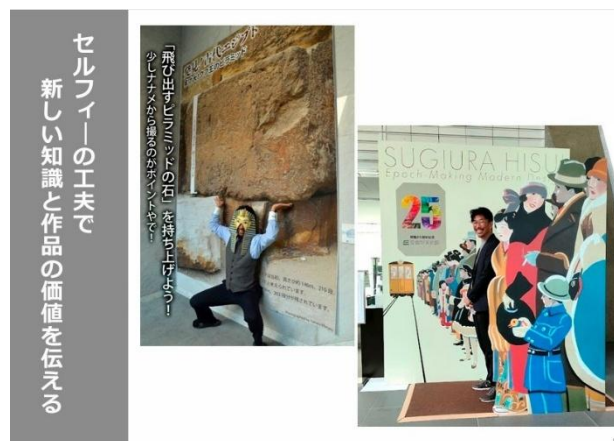
次に「文化観光の意義」・「文化観光推進の 4 つの目標」についてのお話があった。文化観光推進法によれば、「文化資源の観覧など、文化についての理解を深めることを目的とする観光」とある。では、「文化資源」とはなにか、「文化財」とはどう違うのか。その辺りがクローズアップされないまま(私どもの職分もよく熟読しないまま)文字ばかりが独り歩きし大きな誤解としこりが生じたのだと氏の話しから感じた。「文化財」の「財」は「たからもの」の意を持つ。歴史的建造物や美術工芸品・考古学資料などの文化財や、地域で継承されてきた民俗芸能などは大切な「たからもの」であるが、これを大事にとっておくのではなく、社会や地域の維持向上に貢献しうる「資源」として活用していく視点が求められるということだ(勿論モノの保存は大前提となる)。文化資源の活用を通じて地域内の連携体制を構築し、地域文化への深い理解と満足度を高めていく。これにより「文化」→「観光」→「経済」→「文化」とサイクルする好循環を生み出すことが文化観光の意義・目標であることを述べられた。

さらに近年それらを活用(観光する)側にも変化がみられること、一例を挙げれば「サステイナブル・ツーリズム」という概念である、「環境」「文化」「経済」の観点で、持続可能かつ発展性のある観光が大きな広がりを見せていることも見逃せないのだという。加えて、当事者であるこちら側には耳の痛い話しではあるが、展示解説一つとっても博物館の、「伝えたいこと」が本当に観る側(活用者)にとって求めている情報や鑑賞体験に繋がっているのかとの提議を頂いた。また、多言語対応を実施する場合、日本語解説をそのまま翻訳しても基礎知識のない外国人には理解できないし、感受性はさまざま。鑑賞者に「!!」、若しくは「？」と関心・興味を持たせる解説の必要性を説かれた。つまり、これからの博物館が目指すべき一つの方向性は、利用者とのコミュニケーションなしに一方的に「伝える」のではなく、「共有・共感」により裾野(来訪者)を広げることだと説かれた。それには私ども博物館従事者が多様な関係者と連携することにより新しい価値を共創することが大切であると付け加えられた。

かつて、伊藤寿郎は第三世代の博物館として市民が参加する開かれた博物館の必要性を説いた。今後は、博物館がその価値を広く社会と共有し、市民と新しい地域文化を共創する拠点となるような「第四世代」を展望したい、とまとめられた。

90 分という限られた時間の中でさまざまな取り組みを行っている施設の事例も併せて紹介頂くなど、ちょいちょい小ネタを挟み判りやすく、軽妙ながらも要点を踏まえた講演は国の方針をナマの声で伺えた貴重な時間となった。

尚、記念講演会終了後、講師にも参加を頂き情報交換会が行われ、有意義な情報交換がなされた。(熱田神宮宝物館 宝物係長 内田 雅之)



講演会資料より

令和 7 年度 愛知県博物館協会役員

役職名	館（園）名	代表者名	備考
理 事	名古屋市博物館	館長 近藤 善紀	会長 継続
〃	トヨタ博物館	館長 榊原 康裕	副会長 令和 7 年 1 月 1 日より交代
〃	稲沢市荻須記念美術館	館長 長谷川 隆	継 続
〃	熱田神宮宝物館	館長 芹田 治	継 続
〃	岡崎市美術博物館	特任館長 榊原 悟	継 続
〃	弥富市歴史民俗資料館	館長 田畑由美子	令和 7 年度より館長交代
〃	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	継 続
〃	刈谷市歴史博物館	館長 鈴木 隆	令和 7 年度より館長交代
〃	豊田市美術館	館長 高橋 秀治	継 続
〃	武豊町歴史民俗資料館	館長 奥野 真光	令和 6 年 12 月より館長交代
〃	豊橋市自然史博物館	館長 吉川 博章	令和 7 年度より館長交代
〃	名古屋市科学館	館長 大路 樹生	継 続
〃	博物館明治村	館長 中川 武	継 続
〃	新城市設楽原歴史資料館	館長 湯浅 大司	継 続
〃	愛知県陶磁美術館	館長 佐藤 一信	継 続
監 事	徳川美術館	館長 徳川 義崇	継 続
〃	愛知県美術館	館長 平瀬 礼太	継 続

令和 7 年度 愛知県博物館協会実行委員

館（園）名	実行委員氏名	備考
名古屋市博物館	岡村 弘子	(会長館)
トヨタ博物館	藤井 麻希	(副会長館)
稲沢市荻須記念美術館	三輪 祐衣子	(理事館)令和 7 年度より実行委員交代
熱田神宮宝物館	内田 雅之	(〃)
岡崎市美術博物館	安本 翔音	(〃)
弥富市歴史民俗資料館	大坪 恵里佳	(〃)
昭和美術館	後藤 さち子	(〃)
刈谷市歴史博物館	山下 智也	(〃)
豊田市美術館	亀山 祐亮	(〃)令和 7 年度より実行委員交代
武豊町歴史民俗資料館	田中 沙依	(〃)
豊橋市自然史博物館	菊池 波輝	(〃)
名古屋市科学館	堀内 智子	(〃)
博物館明治村	能勢 真丞	(〃)令和 7 年度より実行委員交代
新城市鳳来寺山自然科学博物館	西村 拓真	(〃)
愛知県陶磁美術館	鮫島 由佳	(〃)
徳川美術館	長谷川 円	(〃)
愛知県美術館	井上 ひかる	(〃) 令和 7 年度より実行委員交代

愛知県博物館協会事務局

事務局長	村木 誠	名古屋市博物館副館長
事務局	平尾 隆明	同館総務課長
〃	小森 由起子	同館総務課 課長補佐
〃	藤原 朱里	同館総務課
〃	武藤 真	同館学芸課長
〃	津田 卓子	同館学芸課 課長補佐
〃	島村 桂子	同館学芸課
〃	高石 実花	同館学芸課

令和7年度東海地区博物館連絡協議会・

日本博物館協会東海支部理事会及び総会のご報告

令和7年度の東海地区博物館協会連絡協議会並びに日本博物館協会東海支部理事会及び総会が、令和7年8月1日（金）に、横浜美術館で開催された。概要は下記の通りである。

記

総会参加者内訳：神奈川県博物館協会 20 名（事務局含む）、岐阜県博物館協会 2 名、静岡県博物館協会 5 名、愛知県博物館協会 3 名、山梨県博物館協会 3 名、日本博物館協会 2 名、来賓 2 名 以上 37 名

・議事

- 議題 1 令和7年度理事及び監事の選任について
- 議題 2 令和6年度事業報告及び決算報告について
- 議題 3 令和7年度事業計画及び予算案について
- 議題 4 令和8年度開催権について
- 議題 5 その他

議事1から3については、原案通り承認された。また、令和8年度の開催県は岐阜県とすることも承認された。

なお、理事会において、過日行われた日本博物館協会支部長会議の場で、支部活動の活発化の議論があったことが報告された。理事会来賓の半田昌之日本博物館協会専務理事からも、支部の活動を活性化し、日本博物館協会が行っている法や制に関する議論に反映させていく必要性が指摘された。「支部」の範囲が広く、まとまりが意識されにくいなどの意見もあったが、各県での取り組みを支部内で共有することから始め、共通課題に基づいた研修会の開催など、支部の活動の活発化に向けて、今後も検討を継続していくこととなった。総会後、研修会「横浜美術館の大規模改修とリニューアルオープンについて」が開催され、横浜美術館館長 蔵屋美香氏による講演と、施設見学が行われた。

蔵屋館長によると、今回のリニューアルに際しては、「多様性」に対応することを目的とし、そのための具体的な方策として、エントランスホールである「グランドギャラリー」を、自由にひらかれた空間として整備することに力を入れたとのことであった。

「グランドギャラリー」では、開放的な空間に、小さな子どもが安心して過ごせるスペースや、来館者が自由にくつろげるスペースなどが設置され、多様な来館者を招き、美術館を親しみやすいものにするという意図が強く感じられるものであった。

（名古屋市博物館副館長 村木誠）



横浜美術館 グランドギャラリー

表紙館のご紹介

■西尾市岩瀬文庫

【開館時間】

9:00～17:00

※閲覧室最終申請は15時30分まで

【休館日】

月曜日(祝・休日を除く)

第3木曜日(7月、8月を除く)

特別整理期間、及び年末年始

【入館料】

無 料

※但し閲覧室利用は18歳以上に限ります

【所在地】

〒445-0847 愛知県西尾市亀沢町480番地

TEL 0563-56-2459 FAX 0563-56-2787

<https://iwasebunko.jp/>

【交通手段】

【電車】 名古屋から名鉄西尾線「西尾駅」下車

西尾駅から徒歩20分

または同駅より六万石くるりんバス市街地線

「図書館・岩瀬文庫西」下車すぐ

【車】 ・東名岡崎I.C.から車で45分

・国道23号線「小島江原I.C.」から約10分



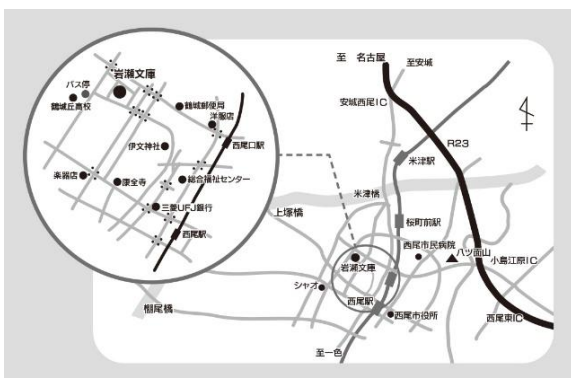
西尾市岩瀬文庫外観



常設展示室



閲覧室



「愛知の博物館」 No.121

発行日 令和7年9月30日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒467-0806

愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

名古屋市博物館内

TEL. 052-853-2655